

降誕前第7主日

朝第1礼拝 9:00~10:00

朝第2礼拝 10:30~11:45

〈神の招き〉

前 奏 ①天にまします我らの父よ シャイデマン

招きの詞 詩編67:2~8

交読詩編 105:1~11

讃美歌 16

〈神の言葉〉

聖 書 創世記32:25~31
(旧約 聖書協会共同訳 51頁)
マルコによる福音書10:46~52
(新約 聖書協会共同訳 82頁)

祈 禱

讃美歌 56

説 教 「主の憐れみによって」

祈 禱 熊江秀一牧師

黙 想

讃美歌 493

〈神への応答〉

使徒信条

献 金

主の祈り

宣教報告②

頌 栄 27

派遣と祝福

後 奏 ①天にまします我らの父よ バッハ

宣教報告①

夕 礼 拝 18:00~19:00

〈神の招き〉

前 奏

招きの詞 詩編67:2~8

交読詩編 105:1~11

讃美歌 215

〈神の言葉〉

聖 書 創世記13:1~18
(旧約 聖書協会共同訳 15頁)
ガラテヤの信徒への手紙3:6~14

祈 禱 (新約 聖書協会共同訳 339頁)

讃美歌 392

説 教 「争い事のないように」

祈 禱 甲賀正彦伝道師

黙 想

讃美歌 462

〈神への応答〉

使徒信条

献 金

主の祈り

宣教報告^夕

頌 栄 27

派遣と祝福

後 奏

宣教報告①

今週の御言葉

マルコによる福音書10:51~52 イエスは、「何を
してほしいのか」と言われた。
盲人は、「先生、また見える
ようになることですか」と言っ
た。イエスは言われた。「行
きなさい。あなたの信仰があ
なたを救った。」盲人はすぐ
見えるようになり、なお道を
進まれるイエスに従った。

次週の礼拝 (11月17日)

① 9:00、② 10:30

説教「預言者の子」甲賀正彦伝道師

申命記18:15~22、使徒言行録3:17~26

交読詩編77:17~21

讃美歌149、182、467、27

^夕18:00

説教「救いは近づいている」熊江秀一牧師

詩編130:1~8、ローマの信徒への手紙1

3:11~14 交読詩編77:17~21

讃美歌12、56、403、27

*礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。*は祈禱当番の方。*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、^夕は夕礼拝。

■今週の祈禱課題■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. 聖書全巻通読リレーの為に
4. 各部例会の為に
5. 関東教区の為に
6. 関東改革長老教会協議会長老研修会の為に
7. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、世界の平和の為に
8. 病気の兄弟の為に

*関東教区お祈りカレンダー 守谷伝道所 久美愛教会 浦和別所教会

◇先週の説教より 「仕えて生きる」 マルコによる福音書10:35~45、詩編84:11~13 熊江秀一牧師

主イエスは十字架のあがないを成し遂げるためにエルサレムに向かって旅をしていた。その途中、弟子たちに主に従う生き方を教えた。

この時、ゼバダイの子ヤコブとヨセフは、主が栄光を受ける時、右と左に座ることを願った。主が二人に「この私が飲む杯を飲み、この私が受ける洗礼を受けることができるか」と尋ねると、彼らは「できます」と答えた。主が語った杯とは十字架の杯であった。しかし二人はそれを王や高官が飲む喜びの杯と誤解した。それは他の弟子たちも同様であった。

そんな弟子たちに主イエスは告げる。「あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕えるものになり、あなたがたの中で頭になりたい者は、すべての人の僕になりなさい」。

明治時代以降、立身出世的な教育の風潮の中、キリスト教学校で学ぶ者は社会事業や宗教等を志した。上を目

指す志ではなく、「底辺に向かう志」である。

札幌農学校の創設者クラーク博士は「少年よ、大志をいだけ」と言った。しかしこの言葉の真意は「キリストにあって」と続く。これも「底辺に向かう志」である。なぜならキリストは低く降り、人となって「仕えられるためではなく仕えるために、また、多くの人の身代金として自分の命を献げる」十字架の道を歩まれたからである。

私たちは主の十字架の愛を携えて、主と共に仕える道を歩むように招かれている。この後、ヤコブとヨハネも使徒としてその生涯を送った。ヤコブは使徒たちの中で一番はやく殉教の死を遂げ、ヨハネは長く生き、迫害の激しい中で福音宣教に仕えた。二人とも神と人に仕え、主イエスの飲む杯を誠実に飲み、僕として歩んだのである。私たちも礼拝から遣わされ、主の十字架の愛を携えて、仕える者として歩もう。